

持続可能な環境共生のある暮らしとドイツの最新エコロジー建築の旅



20th Anniversary

第20回 ドイツ エコバウ建築ツアー2016

ツアープログラム / 申込書

Germany Eco-bau Tour 2016.9.11-9.19

早期申込締切
2016年5月31日(火)
先着10名様



第20回エコバウ建築ツアー 実行委員会

ECO-BAU TOUR

20

Germany Eco-bau Tour 2016.9.11-9.19



持続可能な環境共生のある暮らしと ドイツの最新エコロジー建築の旅

第20回 ドイツ エコバウ建築ツアー2016

Germany Eco-bau Tour 2016

2016.9.11 (SUN) - 9.19 (MON)

2020年の新築住宅 省エネ義務化を目前に控え、パッシブハウスやゼロ・エネルギーハウス (ZEH) といった言葉が一般の方々にも浸透してきました。しかし、省エネ・電気代ゼロといった部分に焦点が集まり、住まい手にとって本当に良い家かどうか、という肝心な点が欠けているようにも感じます。一生に一度の住まいを30年先にスクラップにせず、大切な資産として在りつづける為に、住宅の性能を高めながら、100年先も住み継ぎ「この家で暮らしたい。」という事が本当のゴールではないでしょうか。

今回、ツアー開催 20回目を迎えるエコバウ建築ツアーは、ドイツ北部 持続可能な発展をテーマに掲げ、再開発が進むハンブルクから旅をはじめ、歴史とモダン建築が共存する東ドイツ ベルリンへとツアーを進めます。パウビオロジーの観点から木材やレンガなど、持続可能な部材を多用しながら、近代のパッシブ基準をクリアする建築の視察。エコロジカルな取り組みでコミュニティ活動を続ける住民とのふれあひから、後世に残すべき建築のあり方を考え、これから進むべき日本の家づくりの姿をみつけていただきます。

今後、新築棟数の減少が進む中、住まい手から選ばれる家づくりを考えた、取り組むべき大きな柱として、「持続可能な自然と寄り添う家づくりのあり方」「資産として住み継げる家づくりのあり方」を、旅を共にする仲間達と一緒に考えを深めてみませんか？

**志を共にする仲間達と一緒に、
建築からはじまるエコロジーを体感する旅へ。**



POINT 1 関係者の解説付きでの 豊富なエコ建築の視察

建築に携わった関係者が合流し、設計コンセプトや構造、性能を説明してくれます。建築に関わった現地スタッフから貴重なお話が聞ける機会です。



POINT 2 パッシブハウス、エコ建築を 肌で感じる

そこに暮らす人たちが建築士の立会いのもと、エコロジー住宅・建築を視察します。また、エコロジーなコミュニティを広げる住民達との交流は、持続可能な暮らしを肌で感じる機会です。



POINT 3 同じ志を持つツアー仲間と 未来の建築を考える







これからの日本の住宅・建築を考える志の高いツアー仲間との旅は互いに刺激し、共感することばかり。だからツアーに参加された方々は、帰国後も交流を持っています。



個人では手配できない建物内部の視察もあり、大変充実した内容です。

第20回 ドイツ エコバウ建築ツアー2016 日程表

2016.9.11.sun -9.19.mon

日付	場所(通訳)	プログラム
9/11(日)	NRT(成田)・KIX(関西)	成田・関空から出発 ~ ドイツ ハンブルクへ ホテル到着後 ウェルカムパーティ
9/12(月) 	ハンブルク ヴィルヘルムスブルク (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市開発 ■ 住居/木造建築 ■ ホテル/木造建築 ■ 管理棟/レンガ建築
9/13(火) 	ユルツェン ヴレシュテット (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 木造建築 ■ ユルツェン駅舎 ■ リボス社 プレゼンテーション
9/14(水) 	ベルリン エーバースヴァルデ ホーエン・ノイエンドルフ (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ BMUB (連邦環境省) ／プレゼンテーション:サステナブル ■ BMUB オフィスビル ■ オフィスビル/博物館 ■ 校舎/プラスエネルギー
9/15(木) 	ベルリン (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ スイス漆喰 プレゼンテーション ■ スイス漆喰 施工建築の視察 ■ 住居/リノベーション ■ 住居/エコハウス
9/16(金) 	デッサウ (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ UBA オフィスビル(連邦環境省) ／木造建築・プラスエネルギー ■ 植物園(土のブロック) ■ 住居/リノベーション ■ シュプレー川クルーズ
9/17(土) 	デッサウ ベルリン (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ BAUHAUS(BAUHAUS校舎) ■ Master's HOUSE「親方の家」 ■ 自由行動
9/18(日)	ベルリン	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベルリン ~ 成田・関空へ 19日(月)朝到着 成田・関空

※ ツアープログラムは諸事情により、変更する場合がございます。予めご了承ください。

視察先ミニ情報

Germany Eco-bau Tour 2016

9/16(fri)

UBAオフィスビル (連邦環境庁)



ドイツでの環境保護を司る連邦中央政府機関で1974年ベルリンに設立し、デッサウにある比較的新しいオフィスビルは2005年に建てられたものです。この建物は、事務所や他の部屋がリボン状にまとめられた四階建てで、二つの中庭を取り巻くように配置されています。個別で制御可能な換気システムや、再生可能なエネルギー源として太陽光や地熱エネルギー、ゴミから生成したガスを燃料とするなど、低エネルギーで且つ環境保全が保たれています。

ベルリンやデッサウは、歴史的建造物とモダン建築が共存する街です。BAUHAUSを設計したグロピウスをはじめ、ブルーノ・タウトやル・コルビジェが残した建築の息吹を肌で感じる事が出来るかも知れません。持続可能で後世に残すべき建築のあるべき姿を、旅をする仲間達と一緒に考えてみませんか。

9/17(sat)

BAUHAUS



ツアー最終日には、デッサウにあるBAUHAUS校舎とMaster's House「親方の家」を視察します。

BAUHAUSはモダニズム建築の発展のうえで大きな推進力となった美術・建築を総合した造形大学です。わずか14年間という活動の中でも現代美術や近代建築に大きな影響を与える存在となりました。

デッサウにある校舎は巨匠グロピウスの設計によるもので、モダニズム建築の代表作として世界的にも有名な建物です。年を経ても美しいと感じる機能美は単なるデザイン性だけではないBAUHAUSがかかげる崇高な理念を感じて頂けます。

Germany Eco-bau Tour 2016

Tour coordinator Profile



ツアーコーディネーター & コンダクター ホルガー・ケーニッヒ Holger König

1951年ミュンヘンに生まれる。ミュンヘン工科大学、および同大学院で建築を学ぶ。1983年エコロジー建材店および家具工房の「ホルツ・ケーニッヒ」を設立。

また、妻とともにケーニッヒ=フェリケリウス建築設計事務所を主宰し、パウビオロギー・パウエコロジーを踏まえた住宅、幼稚園、学校を数多く手がける。建築家、家具職人、建材流通といった多様な経験を経て、1996年より「エコ・プラス社」を設立し、建材の品質認定およびコンサルタントに携わる。主な著書は「健康な住まいへの道 パウビオロギーとパウエコロジー」(建築資料研究社2003)、「断熱材とその利用法」、「小屋裏空間」(1996, Freiburg)などがある。

主催 第20回エコバウ建築ツアー 実行委員会

実行委員会事務局 株式会社 イケダコーポレーション 運営:株式会社 イケダコーポレーション

昨年までのエコバウツアー体験記は
ホームページをご覧ください

<http://www.iskcorp.com>